

平成19年度事業計画

[Ⅰ] 国立歴史民俗博物館の事業への支援

(1) 調査研究活動等の援助

① 委任経理金の支出

(2) 広報普及活動の支援

① 博学連携に対する支援（小・中・高校の博物館学習の推進）

② ボランティア活動の支援（友の会会員のボランティア活動への参加等）

[Ⅱ] 歴史民俗関係の図書等の発行・頒布

(1) 歴博総合展示案内の発行・頒布

- ・ 日本語版 増刷（第3室リニューアルのため一部改訂） 5,000部
- ・ 英語版 増刷（第3室リニューアルのため一部改訂） 1,000部
- ・ 韓国語版 増刷（第3室リニューアルのため一部改訂） 300部

(2) 歴博企画展図録等の発行・頒布

- ① 「西のみやこ 東のみやこ 描かれた中・近世都市」（3月27日～5月6日）2,000部
- ② 「弥生はいつから！？ 年代研究の最前線」（7月3日～9月2日）1,500部
- ③ 「長岡京遷都 桓武と激動の時代」（10月10日～12月2日）1,500部
- ④ 「縄文文化の扉を開く」増刷（平成12年度企画展図録）1,500部
- ⑤ 「伝統の朝顔Ⅱ」増刷（平成12年度企画展図録）1,000部

(3) 歴史系総合誌「歴博」の発行・頒布

- ・ 年6回（隔月）発行・各1,000部

(4) 絵葉書の製作・頒布

- ・ 16種・各2,000部

(5) 国立歴史民俗博物館研究報告等の発行・頒布

- ・5種、各200部

(6) 歴博ブックレットの発行・頒布

- ・新規発行 1種、2,000部
- ・増刷 5種(8・11・16・19・26)、各1,000部

(7) その他書籍の発行・頒布

- ・館蔵資料目録 1種 200部

[Ⅲ] ミュージアムショップの事業

(1) 商品の仕入・販売

(2) 販売するグッズ等の開発及び販売促進等

- ・オリジナルグッズ 江戸図屏風しおり・根付・風呂敷 他

(3) 全国の博物館図録の相互販売

- ・143館、839種(平成19年2月1日現在)

[Ⅳ] 友の会事業の実施

(1) 「友の会ニュース」の編集・発行・配布(隔月・年6回)

(維持会員・普通会员には、歴史系総合誌「歴博」を同封配布)

(2) 友の会講座

① 友の会講座

- ・企画展示にあわせた解説講座等 年数回 講師：歴博教員

② 古文書講座

- ・近世（初心者向け） 年5回程度 講師：歴博教員
- ・近世（中・上級） 月1回・年12回開催（4月～3月）

③ 自主講座・講演会等

- ・軍隊と地域学習会 月1回・年12回
- ・近現代史読書会 月1回・年12回
- ・近世史読書会 月1回・年12回
- ・古代の東国探訪学習会 月1回・年12回

(3) 見学会（会員による会員のための見学会） 年5回

- ・古河の歴史を歩く（5月）
- ・成田の歴史散歩（7月）
- ・旧木下河岸・吉岡地区（9月）
- ・東京国立博物館バックヤード見学
- ・千葉県立風土記の丘

(4) 歴史の旅 年1回 2泊3日

多賀城跡ほか東北地方 講師：平川南館長・小野正敏教授

(5) 館長特別講演会「稲初の最新研究」（仮）

4月21日（土）歴博講堂にて 講師：平川南館長